

入退院調整ルールに係るケアマネアンケート 集計結果

令和3年11月実施

○アンケート回収状況

	令和3年度	令和2年度
配布事業所数〔機関〕	44	45
回答事業所数〔機関〕	36	33
回答ケアマネ数〔人〕	114	107
回収率	81.8%	73.3%

【問1】担当している全ケースの件数

〔件〕

	令和3年度	令和2年度
介護	1,757	1,493
予防(総合事業含む)	914	970
計	2,671	2,463

○ケアマネ1人当たりの平均担当数

〔人〕

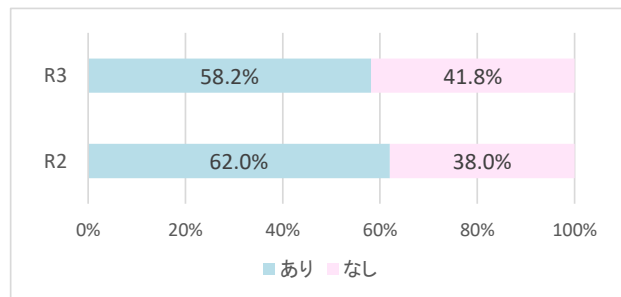
令和3年度	令和2年度
23.43	23.02

≪入院時について≫

【問2】令和3年11月中旬に西諸管内の医療機関へ入院したケースの有無

〔人〕

	令和3年度	令和2年度
あり	57	62
なし	41	38
計	98	100

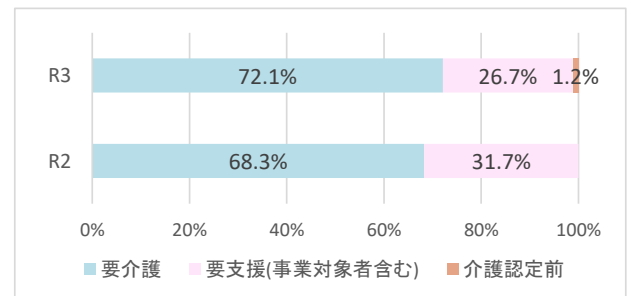


入院ケースありの場合について

(1) 入院ケースありの介護区分

〔件〕

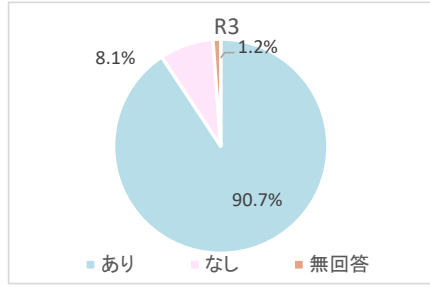
	令和3年度	令和2年度
要介護	62	71
要支援(事業対象者含む)	23	33
介護認定前	1	0
計	86	104



(2) 医療機関及びケアマネ等との間で連絡のやり取りの有無

〔件〕

	令和3年度
あり	78
なし	7
無回答	1
計	86



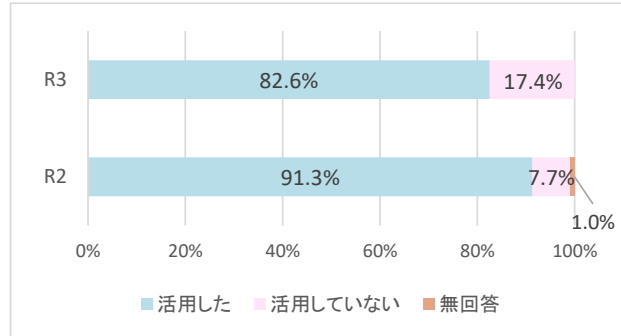
参考：医療機関へ入院時の情報提供を行ったか

	令和2年度
連絡した	100
連絡していない	4
無回答	0
計	104

(3) ケアマネから医療機関へ様式1（入院時情報提供書）の活用状況

〔件〕

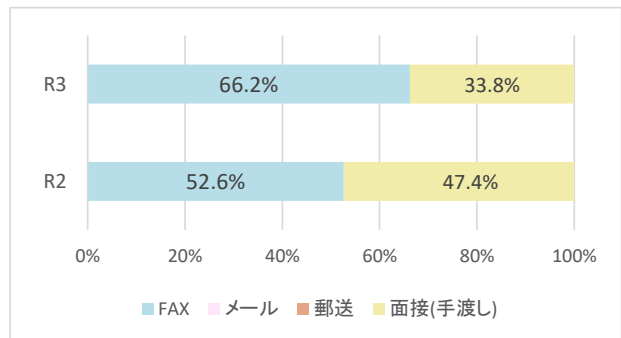
	令和3年度	令和2年度
活用した	71	95
活用していない	15	8
無回答	0	1
計	86	104



(4) (3) で回答のあった様式1（入院時情報提供書）の提供方法 ※複数回答可

〔件〕

	令和3年度	令和2年度
FAX	47	50
メール	0	0
郵送	0	0
面接(手渡し)	24	45
計	71	95

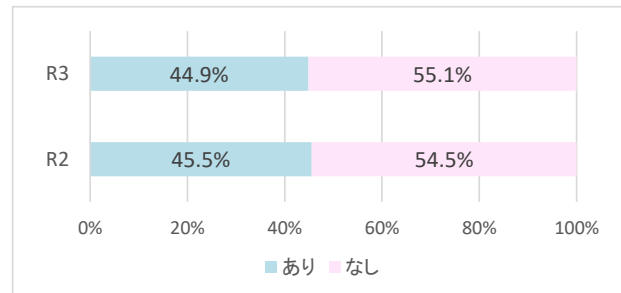


《退院時について》

【問3】令和3年11月中に医療機関から退院したケースの有無

〔人〕

	令和3年度	令和2年度
あり	44	46
なし	54	55
計	98	101

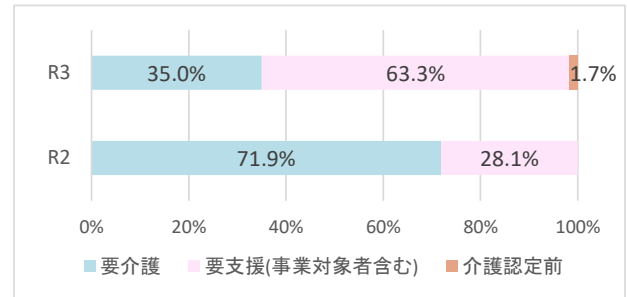


退院ケースありの場合について

(1) 退院ケースありの介護区分

〔件〕

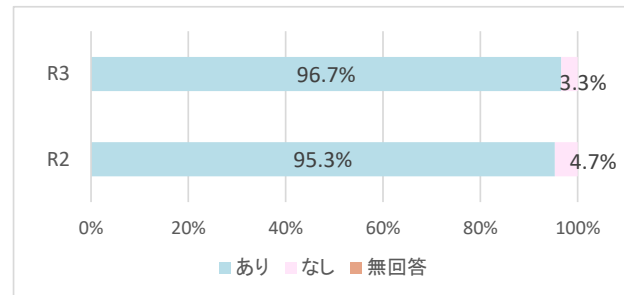
	令和3年度	令和2年度
要介護	21	46
要支援(事業対象者含む)	38	18
介護認定前	1	0
計	60	64



(2) 医療機関からケアマネへ退院について事前に情報提供があったか

〔件〕

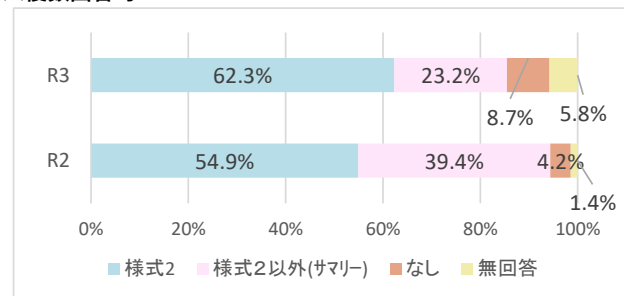
	令和3年度	令和2年度
あり	58	61
なし	2	3
無回答	0	0
計	60	64



(3) ケアマネが医療機関から受け取った情報提供書の種類 ※複数回答可

〔件〕

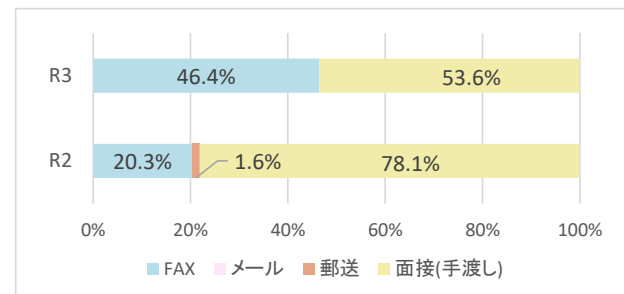
	令和3年度	令和2年度
様式2	43	39
様式2以外(サマリ)	16	28
なし	6	3
無回答	4	1
計	69	71



(4) (3) で回答のあった情報提供書受取方法 ※複数回答可

〔件〕

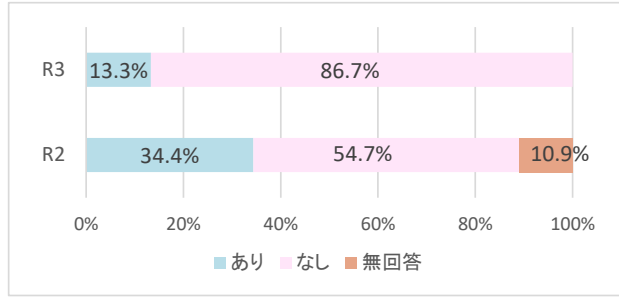
	令和3年度	令和2年度
FAX	26	13
メール	0	0
郵送	0	1
面接(手渡し)	30	50
計	56	64



(5) カンファレンスへの参加状況

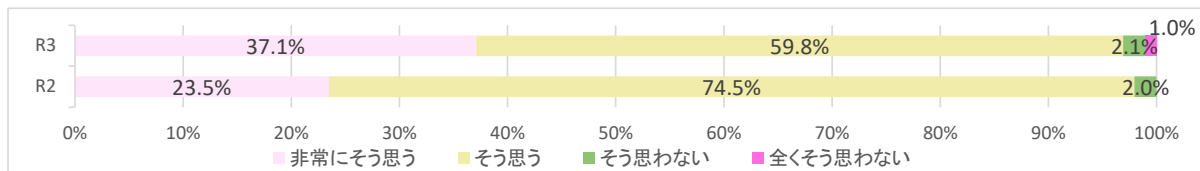
〔件〕

	令和3年度	令和2年度
あり	8	22
なし	52	35
無回答	0	7
計	60	64

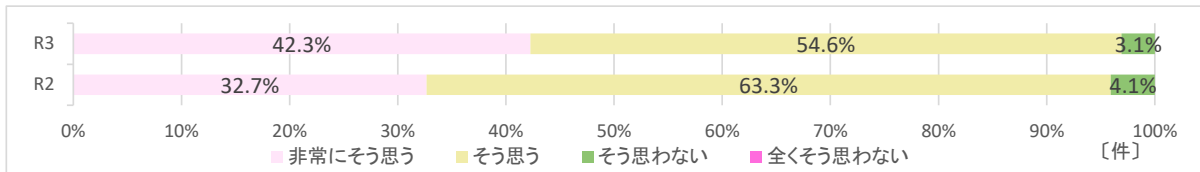


【問5】入退院支援等について

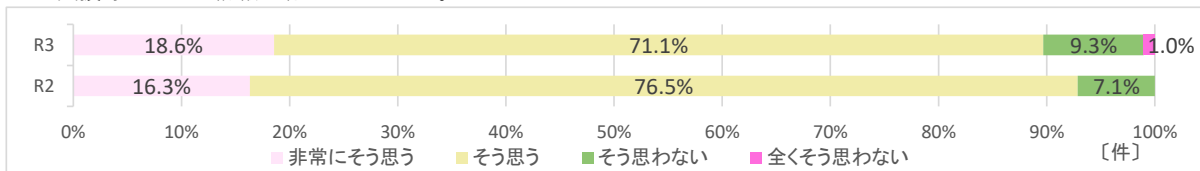
① 介護保険を利用している利用者が入院した場合、医療機関と早い段階で情報共有ができています。



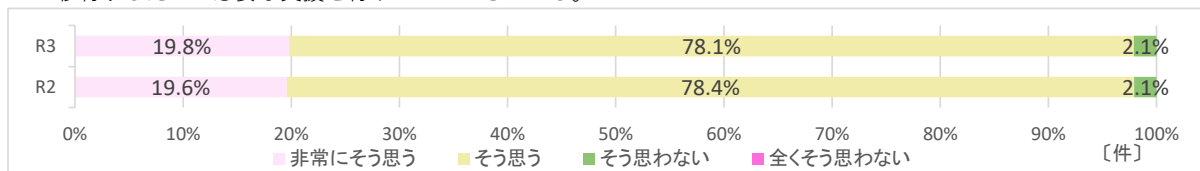
② 利用者が入院したら、すみやかに入院時情報提供書（様式1）等の提出ができています。



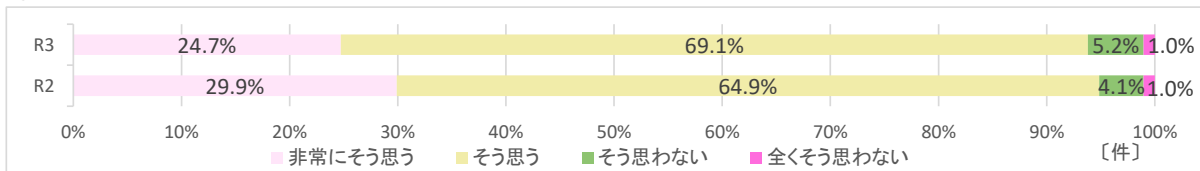
③ 入院中は医療機関と連絡を取り合い、退院調整のためのカンファレンスに参加するなどして退院後に必要な支援等について情報共有ができています。



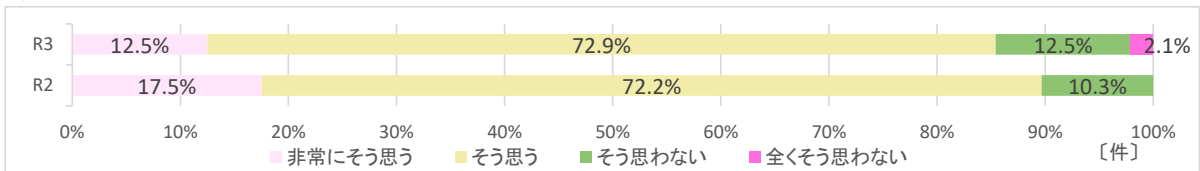
④ 医療機関から相談があったら、必要に応じて本人・家族及び医療機関と情報共有し、円滑に在宅生活等へ移行するために必要な支援を行うことができています。



⑤ あらかじめ入院期間を把握していた場合は、医療機関に退院日の確認を行っている。

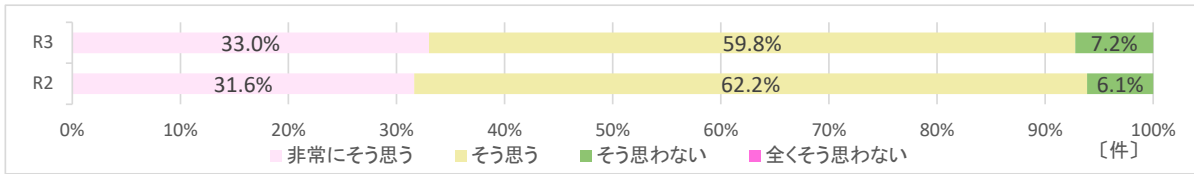


⑥ 退院時に医療機関からの情報は十分であった。

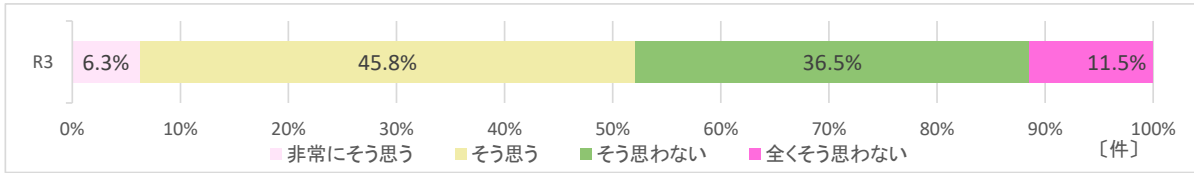


【問6】「にしもろ入退院調整ルールブック」について

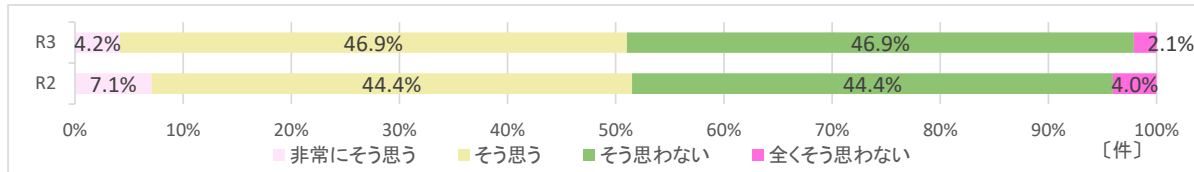
① 「にしもろ入退院調整ルールブック」が勤務している事業所内で周知されている。



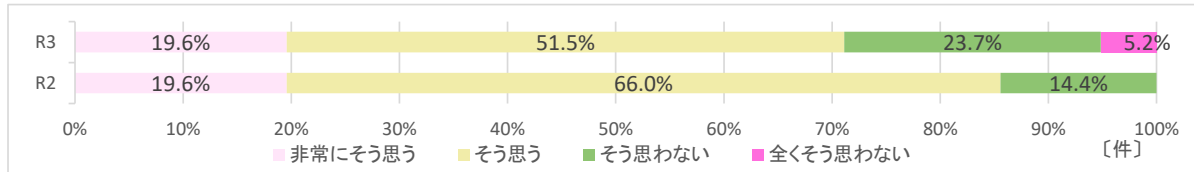
② 「にしもろ入退院調整ルールブック」のWEB版(結netにしもろホームページ内)を活用している。



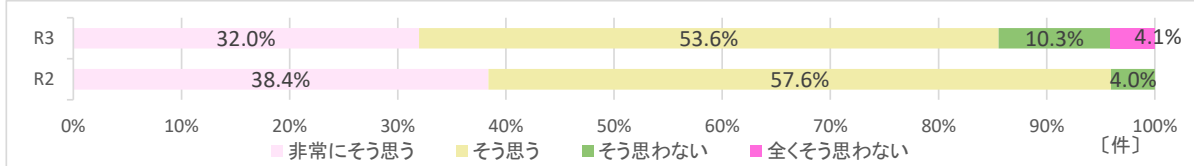
③ 介護保険証やお薬手帳に名刺をつけるなど、医療機関担当者に担当であることを認識してもらう工夫ができている。



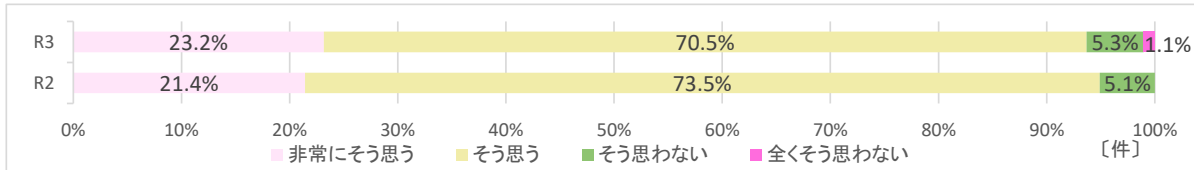
④ ルールブックの冊子またはWEB版の「医療機関窓口一覧表」を活用している。



⑤ ルールブックの冊子またはWEB版の「入院時情報提供書」を活用している。



⑥ 「にしもろ入退院調整ルールブック」策定後、医療機関との連携がスムーズになった。



※②・④・⑤について、令和3年度ではルールブック冊子だけではなく、WEB版の活用があったかを設問に追加している。

【問4】問3で退院前カンファレンスへの参加無しと回答した場合、その理由をご記入ください。

《カンファレンス無しでも利用者の状態把握ができていたため》

- ・入院された時点で、状態の安定にて退院と聞いており、病状や注意点も電話で確認していたため。
- ・同一の病気で入退院していたため。
- ・入院中の状況やリハビリの内容や詳細も電話連絡があり、入院前の状況より状態が良く介護保険サービス内容も変更等もなく、退院前に情報提供書で確認できたため。
- ・事前に同一法人であるため、連絡、連携、確認を行っていた。
- ・本人の状態に大きな変化なく、退院後の方向性も明確であったため。
- ・検査入院のため、入院期間が短かった。
- ・状態に変化がなく、電話や本人との面接で対応できたため。

《コロナ感染防止のための面会制限があったため》

- ・面会制限があり困難のため。
- ・コロナ感染予防のため開催されていない。
- ・感染拡大のため、電話でのやりとりを行った。
- ・コロナに対し大人数、病院での集りが出来なかった。
- ・病院よりコロナで断られた。個別で病院へ出向き、連携室や病棟スタッフと話した。
- ・コロナ対策を含め難しい状況もあると判断。定期的に週に1回包括カンファレンスに参加している。
- ・医療機関の感染症予防対策に伴い、声かけがなかったため。

《その他》

- ・カンファレンス日が別の業務と重なり出席できなかった。
- ・退院後に家族から連絡があり、病院に情報を提出したが、その後連絡はなかった。

E B